

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	早太郎温泉リブランディング事業
事業主体 (連絡先)	早太郎温泉事業協同組合 (駒ヶ根市赤穂 759-447 tel : 0265-81-7700)
事業区分	ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,468,618円 (うち支援金: 1,065,000円)

事業内容

- 1 広域観光連携事業
早太郎温泉発「辰野ほたる祭り」会場へ共同バス運行
- 2 泊食分離受入れ整備促進事業
○グランピングと温泉施設の宿泊を組み合わせたプランの立案 講師:鈴木ともこ
○早太郎温泉から市街地への誘導案内印刷物の制作
- 3 2次交通促進事業
○モニターツアーの企画・運営
○新たな広域サイクリングコースの策定
○PR 動画制作・youtube での PR



【2次交通促進事業】

【目標・ねらい】

- ① 上伊那地域への入込客数増
- ② 多様な関係者による連携促進
- ③ 地域内経済循環の取り組み
- ④ 新たな観光資源の発掘

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 広域観光連携事業 6/15(土)～6/23(日)ほたる祭り期間中シャトルバスを毎日運行 早太郎温泉施設宿泊数 247人泊
- 2 泊食分離受入れ整備促進事業
■新たな観光プラン発掘モニター体験会 ○実施日:2/12(木)、3/12(木)
○会場:駒ヶ根キャンプセンターほか ○参加者:約40名
■温泉施設からお客を駒ヶ根市街地にご案内できる印刷物を作成。
- 3 2次交通促進事業
○モニターツアーの企画・運営 参加者数21名
○伊南4市町村・松川町と連携し、1泊2日走行距離約28kmのコースを策定

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

令和2年に「中央アルプス国定公園化」決定が予定され、世界に中央アルプスをPRする千載一遇のチャンスであり、交流人口を拡大する施策の必要がある。

観光業の中心である宿泊事業者がリーダーとして受入れ基盤を整備し早太郎温泉だけでなく広域的に連携することにより、観光客を取り込む体制づくりをおこなう。

※自己評価【A】

【理由】

辰野町、伊南4市町村、松川町、伊南DMOなど広域周遊の取り組みをおこない、域内経済循環を意識し、多様な関係者による取り組みができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある